

春の訪れを祝う

越生梅林

春の訪れを知らせてくれる梅の花。早春の越生は道歩いているだけで梅の香りが漂ってきます。春風に吹かれながら咲いている姿は、健気で美しく、私たちの心を励ましてくれるようです。

越生梅林



越生梅林は梅園神社向かいの越辺川岸に位置し、約2ヘクタールもの広大な面積を有する梅林として整備されています。関東三大梅林の一つに数えられ、「白加賀」「越生野梅」へに梅など様々な品種の梅の木が約1千本植えられています。

越生梅林の古木

「魁雪」

越生の梅は、南北朝時代の観応元年（1350）に九州太宰府から小杉天満宮（現梅園神社）に分祀した際、菅原道真公にちなんで梅を植えたのが起源であると伝えられています。越生梅林を象徴する梅の古木である「魁雪」は、

その頃の梅「越生野梅」が現代まで生き長らえたものと推定されます。

人の世の栄枯を見つめ、670年を経くなく可憐な花を咲かせ続ける古木です。



五大尊つつじ公園には園内10種類以上、約1万株のつつじが植栽されており、関東屈指のつつじの名所として、その名が広く知られています。

開花シーズンになると、色とりどりの鮮やかなつつじがより一層輝きを増し、その光景はまさに「圧巻」です。



五大尊つつじ公園



さくらの山公園



さくらの山公園にはソメイヨシノやシタレザクラ、ヤエザクラなどの桜が約300本植えられています。毎年3月下旬にはソメイヨシノが一斉に開花し、豪華絢爛な満開の花を楽しめます。

さくらの開花に合わせて土曜日にはさくら祭りが開催されます。提灯によるライトアップも行われ、幻想的な光景を楽しめます。

